

平成24年度 第1回教科用図書選定審議会 記録

日時：平成24年4月25日（水）

全体進行：事務局

1 開会（事務局）

2 主催者挨拶

昨年度は、新しい学習指導要領に基づいて、小学校用の教科用図書の使用が始まった。しかし、その教科用図書が流失してしまったが、昨年今頃、学校が再開し、流失した全ての教科用図書を間に合わせようと国を挙げて対応していただいて学校に届けることができた。教科書を手にした子どもたちは、学習の心の支えとなった。

東日本大震災津波から約1年が経ち、復興教育の元年として、すべての学校において、子どもたちの心のサポートに留意しながら、児童生徒、保護者、教職員の協力はもとより、さらには地域の方々、教育行政に携わる者が一体となって、何とか前を向いて一步一步学校教育の歩を進めている。

そのような中ではあるが、本審議会は、法律である「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、粛々とその使命を果たすべく役割がある。

この審議会では、県内の義務教育諸学校において、児童生徒が使用する教科書の選定に関する「採択基準」等について、御審議いただくことを目的としている。

今年度の教科書の採択につきましては、学校教育法附則第9条の規定による、いわゆる特別支援教育で使用される一般図書にかかわる採択基準等を中心に御審議いただくことになる。

今回の教科書採択においても公正・公平な採択となるよう、各地域の採択協議会並びに市町村教育委員会等への指導・助言にあたる所存である。

3 委員紹介（事務局）

4 情報公開について説明（事務局）

5 会長・副会長の選出

事務局案として会長に吉川健次委員、副会長に菊池直委員を提案する。

→ 承認。吉川会長は会長席に移動。

6 会長挨拶

児童生徒の教育にとって大変重要な教科書の採択について、委員の皆様のご協力を頂いて、粛々と、適切に進めてまいりたいと思っています。どうぞ、ご協力をお願いいたします。

7 議事録署名委員の委嘱

会長から佐藤 等委員、小笠原洋子委員にお願いする。

8 諮問

岩手県教育委員会より吉川会長に諮問書を渡す。

9 事務局説明

資料確認

「平成23年度教科用図書選定審議会実施要項」

「別冊『資料7』学校教育法附則第9条の規定による教科用図書について」

「別冊『資料8』教科書制度の概要」

資料概略説明

- ① 教科用図書選定審議会の規則について
- ② 選定審議会委員名簿について
- ③ 教科用図書採択地区について
- ④ 教科書センターについて

住田町の教科書センターは、陸前高田市の教科書センターが決まるまでの当面の間の教科書センターという位置づけであると大船渡採択地区から報告を受けております。

- ⑤ 平成24年度用教科用図書市町村立小・中学校使用教科書採択状況について
- ⑥ 教科書関係法令等について
- ⑦ 特別支援学校用教科用図書について
平成25年度用一般図書一覧、平成24年度使用教科用図書理由書見本
平成24年度採択許可教科用図書一覧
- ⑧ 教科書制度の概要について

諮問資料配付

「平成25年度において使用する義務教育諸学校の教科用図書の採択基準について」

「平成25年度使用 教科用図書選定のための資料作成基準について」

10 協議

(1) 教科用図書採択基準について

事務局説明

○ 市町村立学校

小中学校の教科書は、基本的に4年に一回、全面的に採択を変えることとなっている。来年度は、今年度と同じ教科書を採択するという手続きをとるようという基準である。

特別支援学級については、基本的には地区内の小中学校で使用する教科書と同一のものを採択する。特別の教育課程を編成し、地区内において採択した教科書を使用することが適当でない場合は、下学年用の教科書を採択できる。また、その使用が適切でない場合は、絵本等を教科書として採択することができる。

○ 県立学校（特別支援学校）

平成25年度使用の特別支援学校の小学部及び中学部の使用教科書は、市町村立の場合と同様になる。特別支援学校においても、学校教育法附則第9条の規定による絵本等を採択でき、毎年度採択替えをすることができる。この絵本等と検定教科書、文部科学省著作本を併せて採択することはできない。

視覚障害を対象とする特別支援学校の弱視者の「国語」について、点字版の教科書も併せて採択できる。聴覚障害を対象とする特別支援学校の「国語」について、文部科学省著作の「言語指導」または「言語」の他に国語の検定教科書を併せて採択できる。

質疑

なし。この通りとして進める。

(2) 教科用図書選定のための資料の作成基準について

事務局説明

昨年度と同様。資料作成基準を学校教育法と学習指導要領に沿って、文言を見直し、整理し

たもの。一般図書（特別支援学校・学級用）の選定の理由についても、個々に示した分析調査の観点を基に作成したいと考えている。

質疑

なし。この通りとして進める。

(3) その他（今後の進め方、第2回審議会について等）

事務局説明

県としても、教科用図書調査員を置き、平成25年度において使用する一般図書について、研究調査する。

11 諸連絡

12 閉会

議事録署名委員

氏名： 佐藤 尊 

氏名： 小笠原 洋子 